

平成 23 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	マトリョーシカ型進化原理
領域代表者	野崎 智義（国立感染症研究所・寄生動物部・部長）
研究期間	平成 23 年度～平成 27 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>共生に開始するオルガネラの創成過程を、宿主とのダイナミックな相互作用機構の解明を通じて研究展開する独自性のある提案である。オルガネラが宿主を支配するというコンセプトから組織された領域であり、非常に魅力的である。共生・寄生に駆動されるオルガネラと真核生物の進化を多層空間的に理解することを目指しており、この領域の目的達成に十分貢献できる実績ある研究者により組織が構成されている。領域のマネジメントでは、ゲノミクス、イメージング、バイオリソースなどの支援体制の構築に配慮がなされている点が評価できる。</p>